

単語A 伊勢物語 あぢれり① 教科書P30～31

年 組 番 氏 名

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、カクゴキ辨語彙を足から考えれば、自力でできる。

カクゴキ辨語彙	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> ・住みぢり＝住んでいた。 ・留仕くじじ＝留仕えをくじ ※「留仕えは、留廷で勤めるじじ 	<p>留、男、古田留に住みぢり。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・とて＝と書いて 	<p>男、「留仕くじじ。」とて、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・別れ惜しみて＝別れを惜しんで ・行きけるままに＝出かけて行ったままに、 	<p>別れ惜しみて行きけるままに、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・来たりければ＝帰って来たかったので ・待ちわびる＝待ちくたびれる ・たりけるじ＝くたじろじ 	<p>三年来たりければ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・いと＝とても 	<p>待ちわびたりけるじ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ねんじろじ＝熱心じ ・言ひける人＝言い寄ってきた人 ※別の男性が熱心にアコローキと来たじじろじ 	<p>いとねんじろじに言ひける人じ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今宵＝今夜 ・あはる＝結婚しまじまつ ※夜、夫を共にじじに来るじじ＝結婚 	<p>「今宵あはる。」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・契る＝約束する ・たりけるじ＝くたじまつたその日に 	<p>と契りたりけるじ、</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・来たりぢり＝帰って来た ※この男は別の男 	<p>この男来たりぢり。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> • 開け給く＝お開けください 	「じの戸開け給く。」	
<ul style="list-style-type: none"> • したたきけれじ＝と書いていただければお 	したたきけれじ	
<ul style="list-style-type: none"> • 開けで＝開けないで • 歌をなむちみて＝歌をよんで • 出だしたりのける＝差し出した 	開けで	
<ul style="list-style-type: none"> • あらたまの年の → 詠れない。 ※「あらたまの」は「年」を導く「枕詞」 	歌をなむちみて出だしたりのける。	
<ul style="list-style-type: none"> • 三年を三年もの詞 • 待ちわびる＝待ちくだびれる 	あらたまの年の三年を待ちわびて	
<ul style="list-style-type: none"> • ただ今宵こそ＝ちかよひ今夜 • 新枕すれ＝新枕をかむるのであよ ※新枕＝男女が初めて床を共にするし 	ただ今宵こそ新枕すれ	
<ul style="list-style-type: none"> • と言ひだしたのければ ＝よんで差し出したしにぞ 	と言ひ出だしたのければ	

和歌の技法のポイント

枕詞＝あるしつばを導き出すための決まり文句。歌のリズムを整える役割がある。現代語には詠れないしつばが多い。

例 ひさかたの → 光 草枕 → 旅 ちはやぶる → 神 しそたへの → 衣 ※百人一首にも多く使われている。

古文を現代語訳してみよう。古文は日本語だから、カンプキ単語帳を見ながら書けば、自力でできる。

カンプキ単語帳	本文	現代語訳
<ul style="list-style-type: none"> あづむらもら概言→「年」を導き出す枕詞 ※訳をなす 	あづむらもら概言年を経て	
<ul style="list-style-type: none"> 年を経て＝累年にわたって 	わがせしがごとくはしみせよ	
<ul style="list-style-type: none"> わがせいがごとく＝私がしたように くるはしみせよ＝新たな夫を愛しなごう 	と語りて、いなむしければ	
<ul style="list-style-type: none"> と語りて＝と語って いなむ＝立ち去る とければ＝としたので 女、＝女は、 	女、	
<ul style="list-style-type: none"> あづむら言→「引く」を導き出す枕詞 ※訳をなす 	あづむら引くと引かねと昔より	
<ul style="list-style-type: none"> 引くと引かねと＝あなたが私の心を引いて も引かなくて 昔より＝昔から 心は＝私の心は 君＝あなた 	心は君に寄りにしものを	
<ul style="list-style-type: none"> ものにしものを＝寄りに添っていたのに 	と語りければ	
<ul style="list-style-type: none"> と語りければ＝と訴えなければ 	男唄のしけり。	
<ul style="list-style-type: none"> 唄のしけり＝唄ってしまった いと＝とても悲しくて 	女、いと悲しくて	

<ul style="list-style-type: none"> • うりに立ちて＝抱えにつけて • 追ひ行けど＝追いかけて行ったか 	<p>うりに立ちて追ひ行けど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • え追ひつかで＝追いつけなくて ※えうて＝うておぼろ 	<p>え追ひつかで</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 依うにけり＝うつろしてしまった。 	<p>濃水のある所に依うにけり。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • そじなりける指＝そじにあつた指 	<p>そじなりける指し</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 指の血して＝指の血で • 書つけける＝書きつけた歌。 	<p>指の血して書きつけける。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 相思ほど＝思いが通じず • 離れぬる人＝離れてしまった人 • 七どめかね＝引き止められずに 	<p>相思ほど離れぬる人を七どめかね</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • わが身＝私の身 ・今ぞ＝今にも • 消え果てぬめる ＝消え果ててしまつたこと 	<p>わが身は今ぞ消え果てぬめる</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 七書きて＝七書いて • そじに＝その標に 	<p>七書きて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • いたづらになる＝信が絶える • けり＝しまった。 	<p>そじにいたづらになるにけり。</p>	